

平成31年度

# 袋井高校同窓会報

第23号



## 地域に愛される学校を

校長 宮本 宗明

同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。在校生にとりましては、活躍される先輩方の姿を見るのが何よりの励みになります。昨年十一月の社会人講話では、三十期生の原田佳奈さんに報道機関の仕事や高校時代の思い出を話していただき、生徒は憧れのまなざしで話に聞き入っていました。また、仕事の関係で袋井市役所や中学校を訪問した時、「私は袋井高校の卒業です。」とか「あの先生は、袋井高校のOBだよ。」などと教えていただくことがたくさんあります。さらに、ある企業の人事担当の方が、ど

の学校の卒業生が会社で使えるかという話をしている中で、袋井高校を挙げてくれました。生徒にとつては、身近で活躍する先輩を見るのが何よりのキャリア教育になります。さて、現役の高校生は、地域社会にどれだけ貢献できているのでしょうか。土日や夏休みでも部活動に宿題、補講もあり、なかなかボランティアなどに参加することができません。夏休みにサマーショートボラティアに参加している生徒もいますが数名です。しかし、部活動単位では様々な活動をしています。十二月に行われたクラウンメロンマラソンには袋井高校から百六人がボラン

ティアに参加しました。陸上競技部や野球部はエコパでの接待や中継地点での監察を行い、ダンス部は袋井南中の正門付近に並びチェアダンスで応援しました。「袋井高校、さいころー」と言つて手を振ってくれたり、駆け寄つてハイタッチしてくれるランナーもいました。また、SNSには「前半、心が折れかかっていた時、袋井高生のチェアの応援でかなり元気になりました(笑)」という投稿もありました。そんな声が生徒のやる気につながっています。昨年の十月一日、台風二十四号が静岡県を通過し、袋井市内も数日間停電しましたが、袋井高校は一日休校としましたが、翌日には授業を再開することができました。しかし、周辺の住宅地では電気が復旧せず、お風呂にも入れない状況でした。しばらくして、ある先生から「榎緑館のお風呂を解放してあげれば良かったね。」と言われ、気づかなかつたことを反省しました。普段から学校が地域とつながっていることが大切です。特に災害の際には学校は避難場所となり、高校生の活躍が期待されます。これからも「志を立つ強靱な人間の育成」の建学の精神の下、社会で活躍し、地域に貢献する人材の育成に努めてまいります。今後とも変わらぬ御支援、御協力をお願いいたします。



## 同窓会報発刊によせて

同窓会長 鈴木 康之

第23号の同窓会報を発刊させていただくにあたり、ご挨拶をさせていただきます。

同窓生の皆様には日頃より同窓会活動に多大なるご支援・ご協力を賜りありがとうございます。

平成30年度卒業生、第41期生を加え、会員は1万4千人になろうとしています。日本全国各地にてまた、各職種において活躍されておりますことは皆様ご承知のことと思います。同窓会設立当初からの悲願でもあ

りました。「榎緑館」が平成26年2月に竣工し、5年が経ちました。この間、在校生のみならずには、部活動に受験のための補習事業にと有効に活用していただき、同窓会の役員会、理事評議員会にと利用してまいりました。これからも同窓会や袋井高校のシンボルとして末永く利用していただけることと思っています。来るべき創立50周年に向け、2年前から16期生が中心となり同窓会実行委員会を立ち上げました。年間の

最大行事である「同窓会総会」の企画運営を当番年度が持ち回りで行われていきます。伝統校では当たり前のように運営をしていますが、我が袋井高校同窓会におきましては、近年、クラス会や同期会は盛んに開催されるようになりましたが、全体の総会となると、なかなか企画運営を引き受けてはいただけませんでした。しかしながら、実行委員会の皆さんの熱心なPR活動や勧誘により同窓生が関心を持ち、多くの会員が出席してくれるようになりました。本年は、8月17日(土)に磐田グラウンドホテルにて開催いたします。同窓生の友人をお誘いいただき出席してみたいかがでしょうか?各方面

で活躍されている先輩、後輩と交流できるまたないチャンスになることとでしょう。私たちも楽しみにお待ちしております。

昭和51年に誕生した袋井高校も、昭和から平成にそして新しい時代に引き継がれてゆきます。時代は変化しても、「自立」「連帯」「敬愛」の精進は不変です。これからの袋井高校発展のため、同窓生の皆様には益々のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

この同窓会報の発送に合わせて、同窓会総会の案内を同封してあります。皆様の参加をお待ちしています。

同窓生の皆様の益々のご健勝・ご活躍をお祈り申し上げます。

はぞっこん感傷の人でした。自分で声読しながら、独り悦に入り、天井を仰いで「ウーン」と唸って暫く言葉無く、最後に一言、「どうだ、いねえ、きみ」が締めでした。

この人の周りに、浪人終了後も多くの若者が集まりました。私はその後の四年間、その人と水路一本隔てた対岸に住んで、その窓の灯りが消えるまではと頑張ったものでした。

在職中、私は進路指導即受験指導の空気には不快感を感じていました。教員は背中を見せ、背中で語るものだと思ってきました。退職後二十年過ぎようとしている今も、自

分が果たしてどうであったかは判りません。人は年月が隔たる程自分の足らざる所には目を瞑り、ありもしなかつたものを作り上げ、自己満足に浸るものです。

今私は、過去に悔いも反省もなく、後への思いもなく、『孫子・呉子』『戦国策』などの大冊中を、「字源」「広辞苑」などと共に有遊してあります。親譲りの眠り性に身を任せながらであることは言うを待ちませ

ん。袋井高校が、生徒諸君始め、関わった全ての人々の永い心の故郷でありますように。

## 懐かしい昭和の匂い

旧職員 近藤 正美

今から三〇年以上も前のことで

す。開校から一〇年過ぎた昭和六十二年四月、袋井高校へ赴任となり、新たな気持ちで校門をくぐりました。一緒に登校する生徒たちは学生靴を持って、男子生徒は学生帽をかぶっていました。それは私の高校時代と何ら変わりない姿でした。

「えっ今も」その時は正直そう思いました。多くの学校が校則や制服の見直しが進むなか、こうした高

校生の姿をみることに多少驚き、同時に懐かしく思いました。学校に慣れてくると今度は「この生徒はよく掃除する生徒たちだなあ」と感心しました。朝に夕に授業や清掃の時間外にもかかわらずよく掃除をしていたのです。まもなく校則違反をすることがなることを知りました。

分が果たしてどうであったかは判りません。人は年月が隔たる程自分の足らざる所には目を瞑り、ありもしなかつたものを作り上げ、自己満足に浸るものです。今私は、過去に悔いも反省もなく、後への思いもなく、『孫子・呉子』『戦国策』などの大冊中を、「字源」「広辞苑」などと共に有遊してあります。親譲りの眠り性に身を任せながらであることは言うを待ちませ

からしばらくしたある日、前回と同じ生徒が玄関の掃除をしていました。「おい、またか？」と声をかけると、「先生聞いてくださいよ。〇〇ですよ、〇〇」と、彼は機嫌悪そうにぶつさらばうに言いました。〇〇とは無謀でなく無帽のことでした。「そうか。でもな、校則は守らなきゃ意味がないと思うよ。」と私。「それじゃ、先生、悪法も守らなきゃいけないんですか？先生、不易流行って知っていますか？学校だつて同じだと思いませんか？もう世の中変わってるんですから」と生徒。彼はまくし立てるように言いました。この一件があつてかどうか知りませんが、彼はその年有名私立大学の法学部に合格しました。

赴任早々にこのようなことがあつて、学校というところは一体どういうところなんだろうと真剣に考えました。日頃の生徒の活動を見て「認めて 褒めて 放つ」ことがいいのか、「言つて させて 気づかせる」ことがいいのかと。そんな折、袋井高校初代校長の河合九平先生が『教師に熱意がある、生徒が頑張る、保護者が理解する、そして地域が支える。これが学校の理想像である』と書かれた記事を目にしました。「そうか、生徒は未熟であるから学校に学びに来るんだ」、そう思うと気持ち

的な知識教養はもちろん、生きる術についても、その基礎基本を教えるにはまず教師の導きが必要なんだという結論に至りました。学ぶ主体は生徒であつても、導く主体は教師である。

こんな始まりからあつたという間の十三年間を袋井高校でお世話になりました。幸い生徒にも先生方にも恵まれ、居心地がよかつたのでつい長居をしてしまいました。当時を振り返ると感慨深いものがあります。それは戦後昭和の日本の高度経済成長期の勢いのような風景を、この学校の随所に見たからです。先生方が近隣の進学校に追いつき追い越せと熱くなり、生徒がそれに懸命に頑張りで応えるという、学園・青春の原風景がそこにありました。ログスの集い、茶摘み勤労体験、高の字山作業、補習、勉強合宿など体験重視の学校行事が多くありました。生徒には不人気のももありましたが、この師弟同行の厳しい体験や試練があつたからこそ、現在の堂々たる文武両道の進学校としての地位が築いたのであり、先輩たちに続いて、生徒たちは本当によく頑張つたと敬意を表します。

また、私は今は廃部となつた男子ソフトボール部の顧問でした。赴任早々「平3総体」を目指して創部し、学校から離れた借地の上田町グ

ラウンドで、毎日の石拾いから始めました。論より実践とばかりに、早速父母会の支援をいただいで県内外へ練習試合、合宿そして遠征へと大阪・千里や山形・南陽まで行きました。その甲斐あつてそこそこのチームになり、運よくインターハイへ出場することができました。県大会で勝つて総体出場を決めて帰校した時、その日はちょうど一学期の球技大会で、閉会式の最中でした。ユニホーム姿でグラウンドに入ると全校生徒に拍手と歓声で迎えられ、私は朝礼台の上で、上ずつた声で報告したことを今でも鮮明に覚えています。

こんなこともありました。卒業式の日

の日の午後、校門すぐ下の学校茶園で多くの学生帽を拾い集めました。

段ボール箱に三杯はありました。生徒の三年間の無言の抵抗を知りました。しかしそれは、開校からの先生

方の十年間の粉骨砕身、必死の学校づくりの結果でもありました。

今でも時々、あの緑色のジャージを着た玄関の「無帽」の生徒のことを思い出します。

今頃どうしているのかと思いを馳

せます。

袋井の丘での十三年間は、私の教

員生活の中で一番「緑風薫る」ころ

でした。

# 平成17年

**袋井高校同窓会**

ホームページ (PC)  
http://www.roiko-ob.net

「袋井高校同窓会」  
で検索

QRコード

ブログ  
http://rolkoob.hamazo.tv

Facebook  
いいね! 2,172名 (2016/11/1 現在)  
https://www.facebook.com/rolkoob

ツイッター  
フォロワー数 1,805名 (2016/11/1 現在)  
https://twitter.com/rolkoob

QRコード



袋井高校キャラクター「ロイッピー」

	平30		平29	
8月	4月	12月	8月	9月
総会 (17期生担当) 開催	43期生 306人入学	サッカー スルガカップ 優勝	総会年次制 (16期生担当) で開催	北自転車置き場竣工

**静岡県立袋井高等学校同窓会事務局**

〒437-0031 袋井市愛野2446-1  
TEL (0538) 42-0191 FAX (0538) 43-0710  
http://www.edu.pref.shizuoka.jp/fukuroi-h/home.nsf  
E-mail : fukuroi-h @eos.ocn.ne.jp

## 夢は、変化し続ける。

十五期生 石黒加奈

私は、十五期生の、旧姓紋谷加奈と申します。この名前をみて、私を知っている方は、さぞかしびっくりしている事でしょう。

自身も原稿依頼を頂いた時、大変驚きました。そして、何を皆さんにお伝えしたらいかがと悩みました。と、いうのも、高校時代の思い出といつても特にこれという思い出もなく、ただ友達と楽しく過ごす事で精一杯の毎日でしたから。でも、それなりに、青春を謳歌し、当時夢だった教師を目指し、大学に進学しました。

しかし、バブル崩壊の波が押し寄せ、自身も、仲間も就職できるか不安な状況が続き、なかには、やっと派遣の仕事に就けたなど、厳しい状況の中、自分は教師という夢を叶えることなく、実家の仕事を手伝う事となりました。夢叶わず、当時は、両親の支えになればと仕事をすつつもりでした。

実家は電気工事業を営んでいます。住宅配線、工場の機械配線、アンテナ工事、空調設備工事といった幅広い分野の電気工事です。

私自身、電気工事には特に興味もなかったのですが、事務仕事をやるなら、まず材料や仕事を知ることが必要だと、なぜか初日から現場に連れ出され、購入した事務服を着ることなく、いつの間にか、第二種電気工事士、第一種電気工事士の免許を取得し、電工女子となりました。そして、想像以上に私は電気工事の魅力に取りつかれていたのでした。

当時は、まだ女性が作業服で現場にいることは珍しく、好奇の目で見られることが多かったのですが、幸い私は、良い人たちに恵まれ、暖かく見守られながら、今日に至り、現場に出ることが出来ています。

そして、今回原稿依頼を頂いたきっかけが、昨年行われたのです。電気工事技能競技全国大会に、女性の部で静岡県代表として出場することと

なったのです。大会自体、二年前までは、女性の部がなかったため、時代の流れを感じたと共に、女性が必要とされる時代がやっとなのだと嬉しく思いました。そしてやっとな電工女子として、今日まで頑張ってきた成果が出せるのだと期待に胸膨らませ、練習に励みました。

大会の内容は、規定の時間内に、課題の作品を作り上げる大会です。スピードも必要、見た目の美しさも必要、そして結線も正確でなければなりません。想像以上に厳しいものでした。時間内に無理に治めようとすると、見た目も悪く、正確さを求めると、時間がなく... 両方重視しなければ完成に至りません。両方重視し、大会当日まで、母に子供の事や家事を協力してもらい、練習時間を確保し、なんとか作品を時間内に仕上げる事ができ、納得した形で大会に望むことができました。

しかし、会場の雰囲気呑まれ、練習通りのスピードが出せず賞は逃してしまいました。しかし、それよりもなによりも、大会当日まで、たくさんの人たちが応援して下さった事、支えてくれたこと、自分が目標に向かって真剣に取り組んだこと、今まで感じたことのない興奮、達成感を味わうことができ、私の一生忘れられない出来事となりました。

夢は突然現れます。そして目標も生まれ、変化もします。私は40代です。子供も高校一年、中学二年、小学六年と三人います。そんな私でも、夢は突然現れました。若いから夢を持たなければならぬといわけではありません。夢は破れても悪いことでもありません。夢は破れても次の夢のきっかけにすぎません。夢つてなんだろうと不安に思うことはありません。人との縁が自然と夢へのきっかけになります。

また、私が伝えたいことは、形にとらわれすぎないでほしいということです。男性だから、女性だからではなく、男性でも、女性でもといったいろんな角度で物事をみる必要が、これから大切になっていくのだと思います。男性だから、仕事重視してもよい。女性だから家庭をおろそかにしてはならないのだと思います。男性でも家庭を大事にし、女性でも仕事に情熱を燃やしてもいいのだと思います。

今年、私の夢、そして課題は、女性が活躍しやすい職場作りのお手伝いをすること、そして皆さんの女性に電気工事という職業の魅力を伝えていくことです。私の夢であり、目標でもあります。

今年、女性活躍推進事業の、パネリストとして、参加させて頂きました。とても楽しみです。これからの日本の皆さんで作るものです。誰もが自分に自身を持って前に進むことのできる社会を想像しながら、自分なりに頑張つてほしいと思います。

会報に掲載させて頂くついでに、もう一つ伝えたいことがあります。大会に出場することが新聞に掲載され、たくさんのお同級生に、応援してもらいました。一友達として誇りに思うよー」とか、「励みになるよー」と言ったメッセージや恩師の先生にも、お褒めの言葉を頂きました。

でも、わたしにはいろんな時期がありました。人生に迷うことも幾度かありました。そんな自分を励ましてくれ、心配しながら私の友達でいてくれたこと、みんなと違う女性らしくない職業についていても否定せず、認めてくれたこと、恩師であつてくれたことに感謝しているのです。

私は友人達のそれぞれの生き方が大好きです。友人として誇りを持っていきます。さすが、袋井高校卒業生だとなつと自信をもつて良いと思います。(笑)そして、これからの人生において、相変わらずの関係をいてほしいと切に思います。

袋井高校の名に恥じぬよう、自分なりに目標を持って、邁進していく所存でございます。緑風を感じながら...

# 平成30年度 袋井高校 の 1年



オーストラリア研修



高校野球



体育大会



マラソン大会



緑風祭



ロゴスの集い



体育大会



勤労体験



緑風祭



緑風祭

## 計 報

平30・9 椋本 正明 事務長

ご冥福をお祈りいたします。

## 事務局だより

● 毎年のことですが、不明者が大変多く、総会案内を郵送しても戻ってきてしまいます。

同級会などで、不明者になっている方がいましたら、確認の上、住所等袋井高校同窓会事務局あて、FAX・メール・はがき等でご連絡いただけましたら幸いです。

● 「模緑館」が竣工して、五年になりました。

在校生は、部活動に補習にと活用しています。今年の同窓会担当の十八期生が毎月、模緑館で準備会を行っています。使用したい同窓生の方は、事務局まで連絡ください。

日程が空いていましたら、使用可能です。いろいろにご活用ください。

## 編集後記

平成最後の年。そして本年は、天皇の退位・即位と行事も多く、お休みも増えます。

この機会に、同級会・学年会等を行なうよい時ではないでしょうか？

久しぶりに懐かしい顔を見にいきませんか？懐かしい思い出がよみがえることでしょうか。

二年毎に同窓会報を発刊しています。

原稿の依頼をご承諾いただいた皆様には、大変感謝しています。次回の会報発行の時には、原稿依頼が届きましたら、皆さんよろしくお願いいたします。

八月には、十八期生担当で、第三十五回同窓会総会が磐田グランドホテルで開催されます。皆さんお誘い合わせの上、多くの同窓生の出席をお待ちしております。